

令和8年2月24日

報道機関各位

環境政策課

令和7年度あおもり環境功労表彰式を開催しました

このことについて、下記のとおり表彰式を開催し、知事から表彰状の授与を行いました。

当日の写真(電子データ)の提供を希望する場合は、担当課までお申し出ください。

記

1 日時

令和8年2月24日(火) 9:45～10:00

2 会場

青森県庁舎南棟2階 第2応接室

3 次第

- (1) 開会
- (2) 表彰状授与
- (3) 記念撮影
- (4) 閉会

4 受賞者紹介

別紙のとおり

報道機関用提供資料(連絡先)		
担当課 担当者	環境エネルギー部環境政策課 総務グループ 副参事 上明戸 健一	
電話番号	直通	017-734-9241
	内線	6412、6414
報道監	環境エネルギー部 次長 山下 伸一	

<提供写真例>



令和7年度あおもり環境功労表彰 受賞者紹介

県では、本県における脱炭素・地球温暖化対策、循環型社会形成推進、自然環境、環境美化、生活環境改善及びその他環境保全・環境教育といった環境分野に関する幅広い功績に関し、特に顕著な功績のあった個人・団体等を表彰するため、今年度、新たな知事表彰制度を創設しました。

今年度の受賞者と主な功績は次のとおりです（氏名／住所地／役職／功績概要）。

◎脱炭素・地球温暖化対策部門（1個人）

さとう みつこ
佐藤 光子 氏（青森市：青森県地球温暖化防止活動推進員等）

- 平成26年から現在までの11年以上にわたり、青森県地球温暖化防止活動推進員として、地球温暖化対策の重要性についての普及啓発や、環境家計簿（※）を通じた日常生活における温室効果ガス抑制のための指導・助言を行うなど、県の脱炭素・地球温暖化対策の推進に大きく貢献した。

※環境家計簿…電気・水道・ガスなどのエネルギー消費に伴い排出される二酸化炭素の量を計算

◎循環型社会形成推進部門（3個人）

あいうち たつき
相内 立己 氏（今別町：相内建設株式会社 代表取締役、（一社）青森県産業資源循環協会理事）

- 平成12年から現在までの25年以上にわたり、産業廃棄物処理業に精励し、産業廃棄物の適正処理の推進に尽力した。
- 一般社団法人青森県産業資源循環協会役員として、不法投棄防止撤去推進キャンペーンによる普及啓発事業などの協会事業に参画するほか、県との協定に基づく災害廃棄物処理に係る体制整備等へ積極的に携わり、協会事業の円滑な実施に大きく貢献をした。

くどう しょうじ
工藤 昭治 氏（新郷村：元青森県廃棄物不法投棄監視員）

- 平成12年から令和2年までの20年間にわたり、青森県廃棄物不法投棄監視員を務め、新郷村内の不法投棄監視活動に従事した。
- 活動により多数の不法投棄現場を発見して県及び市町村に通報したことにより、不法投棄事案等の早期解決や廃棄物の適正処理に大きく貢献した。

にわた りょうじ
庭田 良二 氏（むつ市：むつ市廃棄物減量等推進審議会会長）

- ・平成10年から現在までの27年以上にわたり、むつ市廃棄物減量等推進審議会委員を務め、平成22年に同審議会会長就任後は、ごみ減量及び資源化の促進を目的とした市指定ごみ袋に係る一般廃棄物処理手数料の改定や、ごみの発生から排出抑制について基本的な考え方と方向性を定めた「むつ市一般廃棄物処理基本計画」の諮問にあたり、答申をまとめるなど、環境行政の推進に大きく貢献した。

◎自然環境部門（2個人）

はりう ゆきよし
針生 倅吉 氏（青森市：日本野鳥の会青森県支部顧問）

- ・昭和62年から平成24年までの24年間にわたり、日本野鳥の会青森県支部の事務局長や支部長を歴任し、現在も同支部の顧問として、野鳥調査や野鳥を中心とした自然保護活動に尽力した。
- ・平成20年から現在まで17年以上にわたり、県立自然ふれあいセンターが毎月第3日曜日に開催する日曜観察会の野鳥の講師として、参加者に野鳥の種類や生態などを解説し、野鳥の保護思想普及啓発に努めた。

とのさき まさなり
外崎 正賛成 氏（青森市：自然公園指導員）

- ・平成4年から現在まで33年以上にわたり、環境省から委嘱を受けた自然公園指導員として、十和田八幡平国立公園の利用者に対して、公園利用のマナーの順守に関して助言を行うなどの啓発活動により、自然保護活動に尽力した。